

建築職人工房



きたおか こうむてん

北岡工務店 ニュース

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は格別のお引き立てを賜わりまして、心から御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて弊社は、今年から皆様により良い情報提供を致したく、このようなニュースを毎月中旬に発行することに致しました。なるべく身近で、ためになる情報をお伝え致しますので、ファイル等で保存していただけたら幸いです。

今回は、地盤調査についてご説明いたします。

建物は地盤の上に建つ

平成 12 年 4 月 1 日より「住宅の品質確保の促進等に関する法律」が施行されました。この法律により、供給するすべての住宅に 10 年の瑕疵担保責任が課せられることになりました。この法律の施行によって、特に新築の場合、地盤調査を行うことが必要になってきます。この地盤調査にもいろいろな種類があり、一般のお客様には判断がつかないと思われれます。ここで皆様に覚えておいていただきたいことがあります。なぜ地盤調査が必要か？地盤が原因でおこる問題で一番考えなくてはいけないのが「不同沈下」です。これは基礎を頑丈なものにしても起こる問題だからです。そこで信頼のおける地盤調査法が必要となるわけです。ここでは、木造三階建程度の建築物についてお話しします。現在行われる地盤調査の種類は主に、①スウェーデン式サウンディング試験(SS法) ②表面波地盤探査(GR法) ③ボーリング調査があげられます。ボーリング調査につきましては、あらゆる面で大変なコストアップとなり、住宅建築には不向きですのでここでは省きます。

① スウェーデン式サウンディング試験 (SS法)

従来最も多く利用されている試験です。地盤の支持力は調査可能ですが、地中に障害物がある場合、それ以深の調査は不可能となります。またこの試験では、沈下量の予測をすることが不可能です。

② 表面波地盤探査 (GR法)

表面波地盤探査機を使用します。この探査機は地下 10mまで速やかにその地盤の支持力と沈下量を正確に調査可能です。また、盛土や埋土の性状等の評価が可能です。このデータは基礎設計、地盤改良の時に非常に有利です。

以上より、表面波地盤探査を行うことをお勧めします。今後スウェーデン式サウンディング試験を勧められた場合、不同沈下についての対策をしっかりと聞き出しましょう。さらに詳しい内容をお知りになりたい時は、下記までご相談ください。匿名でのご質問やご相談はご遠慮ください。ファックス、メールの場合は返信先を明記してください。

お知らせ

第2回

とんかち祭り

3月8日（土）予定！

**体験コーナー・フリーマーケット・ゲーム・飲食コーナー
いろいろ イベント もりだくさ〜ん！ お楽しみに！**

当工務店では、省エネ住宅（オール電化・高性能住宅）の中のファース工法を推進しております。天然素材を使用し、新築・増改築から棚板一枚まで承りますので、お気軽にご連絡下さい。

有限会社 北岡工務店

〒930-0916 富山市向新庄町 8丁目 4番 56号

Tel 076-451-5262 Fax 076-451-4325



E-mail kitaoka@sirius.ocn.ne.jp

URL <http://kitaoka-k.com/>

ご質問は
建設マスター
北岡好夫まで！

ホームページ
開設しました
見て下さい！

☆☆ 最新情報 お知らせ ☆☆

平成 14 年 11 月 富山市 屋上付新築住宅（45.6坪）完成

平成 15 年 1 月 大門町 ファース住宅（70坪）完成（オール電化）

平均室温 19℃ 平均湿度 50%